

平成 13 年 8 月 2 4 日

各 位

会 社 名 旭硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 石津進也
(コード番号 5 2 0 1 東証第 1 部)
問合せ先 広報室長 井本健一
(T E L . 0 3 - 3 2 1 8 - 5 4 0 8)

韓国電気硝子(株)株式の LG 電子(株)への一部売却を決定

旭硝子株式会社

旭硝子(株)(本社:東京、社長:石津進也)は、関係会社である韓国電気硝子(株)(本社:韓国亀尾市、代表理事会長:越田得之亮)の株式のうち、総発行株式数の 20%に相当する 1,614 千株を韓国の代表的な電子メーカーである LG 電子(株)(本社:韓国ソウル市、代表理事:具滋洪 John Koo)に 9 2 , 4 2 7 , 5 0 7 , 4 3 2 ウォン(約 8 , 7 8 0 百万円)で売却することで、LG 電子(株)と合意に達し、8 月 2 4 日に、韓国ソウル市で株式売買基本契約を締結致しました。

LG 電子(株)は、かねてより自社で生産するブラウン管の主要部品であるガラスバルブ事業への進出に強い関心を抱いていました。

当社としても、当社ブラウン管用ガラスバルブ事業の重要客先の一つであり、かつインドネシアでの同種事業の合弁パートナーである LG 電子(株)との良好な関係を更に発展させること、また、同社が韓国電気硝子(株)の最大客先であり、同社の韓国電気硝子(株)への資本参加は、営業面を含む様々な好影響が期待されると判断したこと、から株式譲渡要請に応諾することとし、交渉を行っていました。特に、現在急激な業界再編の進むブラウン管業界において業界最大手の合弁事業を有する LG 電子(株)の出資を受け入れることは、韓国電気硝子(株)の安定客先確保の面で大きなメリットがあると判断しました。この度条件面で最終合意に達し、契約締結に至ったものです。

今回の株式譲渡により、韓国電気硝子(株)は本年度下半期より当社の連結対象子会社から持分法適用会社へ変更となります。尚、韓国電気硝子(株)は引き続き当社より代表理事の派遣を受け入れることとなります。

以 上

(ご参考)

1. 韓国電気硝子(株)社概要

- (1) 商号 韓国電気硝子(株) (Hankuk Electric Glass Co.,Ltd.)
(2) 代表者 代表理事 会長 越田得之亮
(3) 所在地 韓国亀尾市
(4) 設立年月日 1974年5月
(5) 主たる事業の内容 ブラウン管用ガラスバルブの製造及び販売
(6) 決算期 12月
(7) 従業員数 1,578名(2000年12月31日現在)
(8) 主な事業所 本社、第一工場、第二工場、第三工場
(いずれも韓国亀尾市に所在)
(9) 資本金 40,367百万ウォン
(10) 発行株式総数 8,073,375株

2. 株式売却先概要

- (1) 商号 LG電子(株)
(2) 代表者 代表理事 具滋洪(John Koo)
(3) 所在地 韓国ソウル市
(4) 設立年月日 1958年10月
(5) 主たる事業の内容 デジタル製品
(6) 決算期 12月
(7) 従業員数 31,774名
(8) 主な事業所 ソウル、平沢、亀尾、昌原
(9) 資本金 10,311億ウォン
(10) 発行株式総数 206,213,617株
(11) 大株主構成及び所有割合 LG化学(5.4%)、LG電線(1.7%)

3. 株式売却後の株主構成等

株主	持ち株数	持ち株比率
旭硝子株式会社	2,422,014	30%
LG電子	1,614,675	20%
テクネグラス	721,000	9%
日本電気硝子	309,000	4%
一般株主	3,006,687	37%
合計	8,073,376	100%

以上